

バックミュージックに 合わせて演奏する

ドラムテーブル アクティビティ
シリーズ – レッスンプラン
発達障害及び自閉症の生徒対象

レッスン 2



対象項目

コミュニケーション、知識、感覚運動、社会性、
演奏/レクリエーション

スキル領域

聴覚認知、言語受容、言語表現、言語コミュニケーション、非言語コ
ミュニケーション、音楽、感覚の統合、粗大運動、チームワーク、創
造力/即興能力、音楽鑑賞、演奏

目標

参加者は、

1. バックミュージックに合わせて演奏できるようになる。
2. 音楽に合ったタイミングとリズムで演奏できるようになる。
3. 即興をはじめめる。
4. 指示がないアクティビティでも自分でできるようになる。

目的

このレッスンを通じて、参加者は次のことができるようになります。

1. 歌を聴いて、合わせて演奏する。
2. 自分独自のリズムの作り方がわかる。
3. 音楽に合わせて体の部分を大きく動かす。
4. 音楽に合わせて、動いたり、手を叩いたり、足踏みしたり、シ
ェイカーを振ったり、ドラムや他の楽器を叩く。
5. 音楽の好みを表現してコミュニケーションをとりはじめる。

教材

■レモ CST ドラムテーブル 40”
マレット 1 人 2 本ずつ
※レモ CST ドラムテーブル 30”、
22”でも可。その場合、人数の多
いグループでは交代して叩くよ
うにする。

■音楽プレイヤー

(CD, MP3, PC, iPad など)

いろいろな歌、いろいろなジャ
ンルの音楽にアクセスできるよ
うにしておく。

■ドラムテーブルアクティビテ
ィシリーズ

Video レッスン 2

[comfortsoundtechnology.com/le
ssons](http://comfortsoundtechnology.com/lessons) (ウェブ無料公開)

音楽療法

公認の音楽療法プログラムを修
了した信頼の置けるプロが療法
の一環として関わり、個々に設
定された目標を達成するために
臨床的に証明された音楽の使用
を実施すること。

ご自身が認定音楽療法士である
か、認定音楽療法士と協力して
行う場合、付属資料「音楽療法
ガイドライン」を参考いただき、
対象者へのより深い機会の提供
にお役立てください。

準備

参加者はドラムを囲み輪になり、動くのに適度な間隔をとって座るか立ちます。必要な教材は全てそろえておきましょう。時間は15分、必要な場合はそれ以上とって行います。

レッスン

これから何をするか説明をします。説明はゆっくり簡潔にします。実際にやって見せ、その後に理解できているかきいて確認します。家庭や教室で、また慣れたミュージシャンでも全くの初心者でも、レモドラムテーブルを使う一番簡単な方法は、事前に録音した音源やバックミュージックに合わせて使うことです。

1. どの音楽をバックで流したらよいかのヒントは参加者にありません。参加者ひとりひとりやグループ全体に響く音楽を選ぶことができれば、集中力や参加意識を高めることができます。言語コミュニケーション能力に制限がある参加者の場合には、コミュニケーションを補完できる iPads, Mayer-Johnson Symbols やビジュアル要素のあるプレイリストなどの使用も考慮します。120BPM のテンポで安定したビートの音楽や、ビートに合わせてダンスやタップがしやすい曲を選びましょう。
(最近の研究では、Pharrell Williams の”Happy”などは、予測が容易なリズムと適度なシンコペーションのバランスで、音楽に合わせてダンスしたり体を動かしたりしたくなることが指摘されています。またファンクやディスコミュージック、R&B やモータウンのオフ・ビートリズムも、音楽に合わせて足でリズムをとりやすいでしょう)
2. 参加者にふさわしいバックミュージックを選んだら、合わせて演奏するためにこれから音楽をかけることを説明します。

応用編

1. 生徒に自分独自のフレーズや組み合わせを作ってもらいましょう。
2. 体の動きをとりいれてみましょう。(足踏み、ダンス、体を揺らす、手を叩くなど)
3. 曲にテンポや音量の変化をつけてみましょう。
4. 「名前ゲーム」をやってみましょう。順番にグループのメンバーの名前でリズムを叩きます。

参考情報

全米音楽療法協会

<http://www.musictherapy.org/>

The ComfortSound

<http://www.thecomfortsound.com/>

REMO, Inc.

<http://remo.com/>

著作権

本印刷物の著作権は以下の個人、会社に帰属します。

内容の一部、または全部を無断転載することを固く禁じます。

著者：ジョージ・トンプソン

George Thompson

ミュージック&パフォーミング
アーツディレクター (TERI, Inc)

協力：テリー・ウィナー

Terri Wiener

MT-BC 米国認定音楽療法士

音楽療法士 (TERI, Inc)

Remo, Inc.